

Festivals of Oharano jinja.  
Yamashiro  
prov.

(Taken from the material  
at Nai musko)

官幣中社大原野神社

相殿神并攝末社ニ對スル奉仕狀況記

一、當神社ニハ相殿ニ神ナシ

一、攝社

例祭神饌貳臺ヲ供シ祈宜又ハ主典以下奉仕

月次毎月一日ニハ神饌參臺ヲ供シ官司以下奉仕

本社ノ例祭新年祭新嘗祭當日ハ各神饌參臺ヲ供シ官司

以下奉仕毎朝本社日供ノ際全廻廊内ヨリ遙拜ス

一、末社

例祭神饌壹臺ヲ供ヘ祈宜又ハ主典奉仕

月次毎月一日ニハ神饌貳臺(相當)ヲ供ヘ官司以下奉仕

本社ノ例祭新年祭新嘗祭當日ハ各神饌貳臺(相當)ヲ供ヘ



On-yumi-matsuri.

@hara no jinja.

(Taken from the Naimusho)

官司以下奉仕ス

毎朝本社日供ノ際今廻廊内ヨリ遙拜ス

以上

大原野神社慣行特殊神事

古來當社ニ行ハレタル私祭中主ナルモノ左ノ如シ

一、御弓祭

御弓祭ハ一ニ御弓神事又ハ御弓式トモ言フ、創祭ノ年代

不詳單ニ口碑ニ存スルモノハ往古坂上田村磨東征ノ際之

レニ大原野ノ郷士從軍シタル者同將軍ノ恩顧ヲ記念セン

ガ為又一ニハ惡魔ヲ祓フ祈禱トシテ行ヒ來レルモノ、如

シ、神社ニ何等依ルベキ記録現存セズ、

當神社氏子ハ神社ヲ中心トシ南北ノ兩町ニ別レ各其半ヲ



占山年々此兩町ヨリ順次當番ヲ以テ神事ニ關係ス

神社氏子ヲ分別スレバ左ノ如シ

侍株

御式ノ侍トシ又ハ太郎ヲ勤ムル家  
門五拾株アリテ壹株ヲ貳戸以上勤ムル能  
ハサル慣習ナリ

弓株

氏子

平株

御式ノ雜用人夫使丁ヲ勤ムル家門  
株分ケノ事右同様

水吞

御式ニ關係ナシ門地ノ如何ニ抱ラズ中世他  
ヨリ轉住セル家門ヲ云フ

ヨリ轉住セル家門ヲ云フ

當番役上座侍ニ人ヲ太郎一人下座侍ニ人酌人貳人

右當番ハ忌服ナキ者ニテ上座侍ハ以前ニ於テ弓太郎當番

ヲ勤メシコトアル者ニ限ル

酌人ハ小姓役ニシテ七八歳ノ童子ナリ、勿論侍株家ノ人

人ニ限ル、外ニ平株ヨリ使丁數丁數人當番右ノ如シ



Jan 12

一月二日 弓始ヲナシ 弓太郎ハ各式弓ノ稽古ヲ始ム、祭典  
當日 追念ル事ナシ 酌人モ日様ナリ

此両方 太郎ハ朝夕神社ニ参拜シ 一月十五日ヨリハ特ニ潔

齋ヲ嚴ニシ 一日三回一回ニ付桶ニ三杯ノ水ヲ被リ 凡テ別

火トシ炊事ハ清浄ナル男子之レニ當ル座席寢所等モ別ニ

設クルナリ、又弓太郎ハ各一月十五日石清水ハ幡宮へ参

拜侍壹名使下壹名隨行

一月十七日 清水(京都)寺田村堂へ参拜隨行右ニ同ジ

一月十八日 北野弓太郎ハ南町弓太郎方へ立會タケエ稽古セセノ

為出向ス

一月十九日 南町弓太郎北町へ右同断

一月二十日 射場揃ト称シ 射場野ニ於テ南北弓太郎立會ヲ



ナス、酌人モ同様立會ヲナス（本日ハ午前射場ノ裝置ヲナ  
ス）

一月二十一日、式日此日村內常使ノ者ヲ太郎西家ハ時刻打  
合セ、為七度半ノ使ヲナス、午後十二時三十分頃打合セ  
整ヒ南北ヨリ同刻各ヲ持（使丁）ヲ先導ニ上座侍ヲ太郎酌人  
下座侍ト列ヲナシテ神社ハ参着ス、

當日ノ服裝ハ神職ハ狩衣ヲ太郎素袍上下座侍酌人共袴ヲ  
持ハ白丁トス、神前廻廊内ニ於テ御ヲ祭ヲ行フ、空司以  
下神職奉仕中祭ニ準ス

次ニ祝詞

祭典終テ祢宜主典ノ眞名先導他神職ハ列セス（行列正レリ  
射場野ニ向テ射場野ハ神社ノ東方約貳丁ナク行列ハ本道



ヲ迂廻シテ丁許步行

式次第

一、當リ射場内ニ假リニ神座ヲ設ク

一、神職以下着座

一、次ニ土器壹重ヲ折敷ニ載セ先神前ヘ供ス、酌人ニ人勤

仕

一、次ニ土器同シリ神職ニ供ス、酌人同様

一、次ニ折敷ニ載セタル肴ヲ神職以下参列者ニ供ス酌人同

肴ハ式次五回ニシテ一、昆布栗二、密柑三、海老四、青海苔五、

小判形菓子ヲオユレ製ス

一、次長柄鉋子ニテ酒ヲ神前土器ヘ三献二回南北ノ酌人代

リテ又三献二回夫ヨリ盛砂ノ串ヲ抜キ横ニ積ミ其上ヘ



三献ニ回南北酌人代リテ又三献ニ回夫ヨリ神職ハ三献  
ニ回トシ上座侍三献ニ回弓太郎ハ三献一回酌人鉋子ノ  
酒ヲ補ヒ又弓太郎ハ三献一回下座侍ハ三献ニ回土器ハ  
神職ヨリ順次下席ヘ手渡スナリ  
一次ニ下座侍ノ前ニアル土器ヲ撤ス、夫ヨリ神職以下ノ  
有ヲ撤スルナリ

一次ニ弓太郎二人同時ニ立ケテ神前ヲ拝シ型ノ如ク弓ヲ  
引リ終テ神前ヲ拝シ着座

一、右ノ如クスルヲ五回即酌人五立<sup>イツタ</sup>弓太郎五立ケテ以テ式

ヲ終ル、一立ニ付箭二本宛ナリ、初二立ハ白羽ノ箭神

ノ箭ト云フ後三立ハ黒羽箭ヲ用フ一立ニ二本ハ弓太郎

一人分ナリ



一、三立目ハ箭ノ變リト云ヒテ酌人ヨリ土器及肴ヲ進ムル  
一、前ノ如リナレバ酒ハ南北ノ酌人變リテ酌ヲナス  
一、神前及盛砂串ノ酒ハ初壹圓即壹立限リトス後ニ酌スル  
一、ナレバ又盛砂串ノ酒ハ土器ヲ用ヒス直ニ注グナリ  
一、五立日前ニハ酌人先土器肴ヲ諸員ニ配リ置キ武射終リ  
テ後酌ヲナス  
一、五立日ニ於テハ弓太郎ハ武射ヨリ前、先南北ノ盛砂ノ所  
ニ二人寄り重リテ串数ヲ讀ム、次ニ北ノ方ノ串数ヲ讀  
ム前ノ如シ、串ハ十七本ナリ、之レヲ二十本ニ讀ム、  
即始十本ハ正シリ讀ミ後七本ハ四、六、八、三本ヲ空ニシ  
一、二、三、五、七、九、十ト讀ムナリ、  
一、此神事ハ天候ノ如何ニ抱ラス日限通執行ノ定ナリ



一、神事中若シテ太郎ニ於テ病氣其他異常アレバ上座侍代  
リテ武射ヲ行フ

一、神事中若シテ太郎ノ武射ニ際シテ故障等アレバ上座侍ハ

直ニ之ヲ調ヘ弦ノ切レタルハ又ハ弓ノ破損其他落シタ

ル時ノ如シテ若シテ太郎ニ付シテ故障等アレバ下座侍直

ニ之ヲ調ヘ若シテ太郎ニ付ス箭ヲ取落シ或ハ折レ其他破損

ノ場合

一、次ニ南北所ノ青年ニテ大綱ヲ引キ切ルナリ

一、大綱ハ蛇ヲ象リタルナリ

的ハ鬼ヲ象リ即蛇ヲ断テ鬼ヲ撃ツト云フナリ

又ハ漆樹ノ串ハ箭ヲ象リ其数ヲ讀ミテ鬼ヲ偽ルト云ヒ

傳ス



以上終テ式關係者一同再ビ神社へ歸リ來リ廻廊内へ着  
席参拜宮司以下神職モ前ノ如ク参拜祝詞ヲ奏シ各参拜  
シテ退リ之ニテ式全ク終リス。